



第40号 2016.10.1
諏訪圏域障がい者総合
支援センター オアシス
tel 54-7713/fax 54-7723

「わたしたちの作品展」出展者募集！

諏訪地域障害福祉自立支援協議会では、12月10日（土）にフォーラムを開催し、作品展も実施します。作品は、絵画・書・写真・手工芸等、なんでもアリ！諏訪地域の障害のある方・障害福祉施設の利用されている方の作品を募集します。

応募方法：別添の応募用紙に必要事項を記入の上、オアシス（tel：54-7713）までメール（info@suwa-oasis.jp）か持参で。

締め切り：11月25日（金）17:00まで

作品持込：12月2日（金）10:00～17:00

作品返却：12月12日（月）10:00～17:00、
12月26日（月）10:00～17:00（1階フロア展示分）

展示場所：諏訪市総合福祉センターいきいき元気館 交流ひろば

展示時間：12月10日（土）10:00～16:00

■自立支援協議会

♣ 地域生活支援部会

8月26日（金）第2回 部会

9月21日（水）小規模多機能型居宅介護施設見学（宮田村 わが家）

参加者10名。あずま家・あずま家河原町（宅幼老所）と共に見学しました。生活介護・短期入所・放課後等デイサービス（基準該当）、タイムケア・日中一時支援で障害者受け入れられています。

♣ 療育支援部会

9月8日（木）第3回 部会

9月21日（水）重心ワーキング

■研修会・研究会・イベント情報（詳しい内容は、各団体またはオアシスまで）

♣ 映画上映会とシンポジウム

「風は生きよという」の映画上映と障がい者とその家族のためのシンポジウムです。

10月12日（水） 13:00～

会場：安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」

内容：映画上映

シンポジウム パネリスト 海老原宏実さん（呼吸器ユーザー・映画出演者）
穴戸大祐さん（映画監督）

北村千章先生（新潟県立看護大学）

定員：200名

費用：前売/1,000円、当日/1,200円（障がい者と介助者1名無料）

問合せ：風をみる会（tel:090-7246-7697）増田さんへ

♣ ガレージとーく『うつ病で、語る、つながるミーティング』

うつ病当事者や家族のピアサポートの場です。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」と当事者同士で分かち合い、繋がりや癒しを感じてみませんか？

10月16日（日）13:30～16:30

会場：塩尻市市民交流センターえんぱーく2F 203 会議室

対象：うつ病の当事者（家族、支援者も可）

定員：8名（先着順）参加費：500円（会場費・運営費として）

申込み：NPO うつ리카バリーエンジン（長谷川 tel090-4823-7494）



♣ おたまじゃくしの会 ～ ゆっくり ゆったり 楽しもう ～

自分自身の障がいについて学び、仲間とともに暮らしやすい地域づくりを目指します。

【10月定例会】 日帰り旅行

10月22日（土）

集合：10:00 ガラスの里

目的地：大芝高原（南箕輪村）

会費：おおよそ200円 ただし昼食・マレットゴルフ代実費

交通手段：乗り合いで

持ち物：温泉・足湯に入る方はタオル他

問合せ：オアシスへ電話（74-7713）かメールで。



♣ 聞こえない人のための出張相談

県聴覚障がい者情報センター職員による生活相談を行います。静かな部屋で手話や筆談・ゆっくり話すなど、わかりやすいコミュニケーションの方法でお話を伺います。

10月29日（土） 13:00～14:00

会場：岡谷市 諏訪湖ハイツ

対象：聴覚障がいのある方、ご家族、または本人に関わる方

申込み：前日までに

長野県聴覚障がい者情報センター（tel 026-295-3530 fax 026-295-3567）へ

♣ ～子どもたちの特性を知り誰もが適切な支援者となるように～

「行動と学習に関する基礎調査票」と「評価シート」による実践についての講演会です。

10月29日(土) 13:00~16:20

会場：松本市鎌田地区公民館 大会議室

講師：黒澤礼子先生(神奈川大学院講師 臨床発達心理士、臨床心理士)

費用：500円(臨床発達心理士、臨床心理士) 左記以外の方、1000円：

参加要件：発達障害等の子どもに関わっておられる方、発達障害等の子どもの保護者

定員：100名

申込先：臨床心理士会長野支部ホームページ上申込フォームより、10月20日までに

♣ SAKURA 岡谷センター オープンデー！

SAKURA 岡谷センター(就労移行支援)を自由に見学・体験が出来ます。当事者の方ももちろん、ご家族やご支援者の方だけでもぜひ来所下さい

11月14日(月)~18日(金) 10:30~14:30

場所：SAKURA 岡谷センター

申込み：当日直前でもかまいませんので、来所のご連絡をいただければありがたいです。

(tel 21-1380)

■お知らせ

♣ 10月のパン販売予定(諏訪市総合福祉センター1階 就労継続支援A型事業所『BAITEN』)

和菓子、パンなどの注文承ります。お声がけください！

はっぴーおじさん：7日(金)、14日(金)、21日(金)、27日(金)

こころ屋：3日(月)、24日(月)、31日(月)

いちやまマート：4日(火)、5日(水)、11日(火)、12日(水)、18日(火)、19日(水)、25日(火)、26日(水)

パンDEチーノ：6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

■リレーすいそう 第40回

『富士山のように』

【諏訪圏域障がい者就業・生活支援センターすわーくらいふ 秋山浩樹さん】

みなさんは日本で一番高い山をご存知でしょうか？その通りです。標高3,776m、言わずと知れた「富士山」です。私にとって山は小さなことから当たり前にある風景でした。自宅から外を見渡すと、左側から八ヶ岳、富士山、南アルプス甲斐駒ヶ岳が見え、その山々を見ながら四季の移り変わりを感じていました。その中でも富士山は私にとって、とても大きな存在です。

私は色々がうまくいかない時や、考えがまとまらない時などは富士山へ行っています。でも、



体力に自信がないので今までに登ったことはなく、見る専門です。このお話をすると何のために行っているの?と聞かれる時がありますが、ただ見るためだけに出かけています。毎回ルートを変えて、色々な角度からまだ見たことのない富士山を探しながら向かっていきます。鉄板の国道20号や中央道、清里、長坂、時にはとんでもない遠回りをしたり、足を延ばして静岡県を横断してしまうこともしばしば。今までにどれだけ行ったかわかりませんが、同じルートを通っても毎回違う姿を見せてくれます。近くても、遠くても、どこから見ても富士山に変わりはありませんが、季節によって、残雪があったり、夏山で山肌がむき出しな

っていたり、夕日で赤く染まったり、暗闇から浮かびあがったりと、一言では言い表せない雄大さがそこにはあります。

富士山は「霊峰富士」と言われるように、古くから日本人にとって信仰の山とされてきました。また、富士山は昔から日本の象徴であり、一富士二鷹三茄子のように縁起物としても表現されています。

突然ですが、ここでみなさんにクイズです。

Q1. 紙幣に描かれている富士山は、どこから見たものでしょうか?

Q2. 富士山の山頂は何県になるのでしょうか?。

Q1はかなり知られていますが、Q2は私も知ったときは意外でした。富士山の周囲には本栖湖、精進湖、西湖、河口湖、山中湖の5つの湖「富士五湖」があります。どの湖からも富士山は見えて美しいですが、その中でも本栖湖から見る富士山は紙幣に描かれており、湖に写る逆さ富士は見事です。また、山頂は徳川家康の時代から甲斐（山梨県）でも、駿河（静岡県）でもなく、静岡県富士宮市にある浅間神社の総本宮「富士山本宮浅間大社」の所有地であり、地図を見ていただいても明確な県境線が引かれていません。

私の富士山愛は尽きませんが、行った先で何をやるわけでもなく富士山を眺めていると、時間を忘れ、悩んでいたことや心に詰まっていたものが解けてゆき、些細なことで腹を立てたり落ち込んだりしていた自分自身の小ささを実感します。私にとって富士山は、パワースポットでもあり、癒しスポットなのかもしれません。就業支援ワーカーとしてお仕事をさせていただいて1年半、障害をお持ちの方やご家族、支援者の方々から多くのことを教えていただき、学ばせていただきました。大それたことは申し上げられませんが、私も富士山のように大きくどっしりとした存在になり、相談に来られる方々を受け入れられるようになっていきたいと思う今日この頃です。

(次は、出来たてホヤホヤのJumpin'の根村隆司さんをお願いします)

■オアシス情報

♣オアシス巡回相談

オアシスでは、諏訪地域にお住まいの、障害や難病のある方、ご家族の皆さんなどの相談に応じ、必要な支援や情報提供を行います。オアシスまでの移動手段のない方、事情がありなかなか相談できない方のために、お住まいの近くで相談会を実施します。

今回は、県聴覚障がい者情報センターと合同企画です。

10月29日（土）10：30～14：00

場所：岡谷市 諏訪湖ハイツ 担当：渋谷

相談費用：無料

申込：できるだけ事前に、オアシス（tel 54-7713）あてへお申込みください。

■10月の日程（自立支援協議会、オアシス）

- 10月4日（火）水泳教室
- 6日（木）権利擁護部会
- 7日（金）相談支援部会
- 11日（火）サロン de てくてく
- 12日（水）親の会
- 14日（金）就労支援部会
- 17日（月）オアシス全体会（いきいき元気館休館日）
- 18日（火）サロン de てくてく
- 20日（木）自立支援協議会全体会
- 24日（月）デイケア
- 23日（火）水泳教室、サロン de てくてく（体育館活動）
- 26日（水）テルマエ会
- 27日（木）あそびのひろば
- 29日（土）巡回相談

■オアシスたいむ 36 『トリックアトリート』

10月となり、街中でカボチャやお化けのディスプレイを目にするようになりました。オレンジや紫、黒を基調とした装飾も至る所で見られます。言わずと知れたハロウィンの飾りつけですが、意外と「そもそもハロウィンって何？」ということは知っているようで知らないのでは？

ハロウィンは毎年10月31日に行われます。11月1日に行われるキリスト教の万聖節「All Hallows」の前夜祭、つまりは All Hallows' Eve が訛って Halloween 呼ばれるようになったようです

日本に伝わったのはアメリカからだと言われていますが、ハロウィンの起源は、古代ケルト人が行っていた秋の収穫祭や悪魔祓いの儀式であり、その発祥はアイルランドやスコットランドだとされています。これに、キリスト教の万聖節が結びつき、ハロウィンとなりました。

ハロウィンが10月31日に行われるのは、11月1日の万聖節の前夜、All Hallows' Eve が関係していますが、紀元前5世紀頃のケルト人の暦では、11月1日が新年だったため、10月31日が日本でいう大晦日にあたるからとも言われています。この日の夜には亡くなった人の魂がこの世に戻って来ると信じられていたため、悪霊や魔女に憑りつかれないように仮面を被ったり、魔除けに火を焚いていたと言われていました。ケルト人にとってのハロウィンは、秋の収穫祭と悪魔祓いの意味合いがありました。

しかし、ヨーロッパからアメリカにハロウィンが伝わってからは、宗教的な意味合いは薄まり、子供がお化けの仮装をし家々を回ってお菓子をもらう、といった民間行事として定着した

ことから、アメリカから日本に伝わったハロウィンにはやはり宗教的な意味は殆どないようです。

塩尻市では20回目のハロウィンイベントが開催されます。20年ともなると地域の方にとっては、当たり前恒例の行事として溶け込んでいるのでしょうか。

日時 10月29日(土) 13:00~19:00 (受付 12:30~16:00)

場所 塩尻市大門商店街